## 大学からの「もんじゅ」への期待

福井大学附属国際原子力工学研究所 竹田 敏一

## 内容

- 1. 背景
- 2. 新しい手法・測定法の導出と通用
- 3. 若手人材育成
- 4. 国際利用

## 1. 背景

・日本原子力学会「もんじゅ」研究利用特別専門委員会

2004~2008年

「炉心燃料WG」

- ・ もんじゅ性能試験に対する提案
- ・ 学会意見収集について
- ・提案の内容議論

#### 「プラント利用WG」

- ・性能試験に対する提案
- ・ 教育利用についての提案
- ・ 利用を促進する上での仕組み作り
- SPX、ロシアでの性能試験

#### 「その他」

- 国際協力
- · IAEA-CRPベンチマーク
- ・ 企画セッションについて

## 2. 新しい手法・測定法の導出と通用

- (1) 手法(核計算)
  - · 3DMOC
  - ・モンテカルロ法による出力校正・遮蔽評価

### (2) 測定法

- ・フィードバック反応度成分分離
- ・炉雑音
- ·動的制御棒価値測定 (3次元中性子束、随伴中性子束分布)

## (3) データの活用による研究活性化

● Am含有炉心評価



Am核データ

- 自然循環
- 温度成層化
- Na技術 不純物拳動解析
- 蒸気発生器



熱流動計算の向上



音響計

# 3. 若手人材育成

・学生の参加

実機高速炉の解析



実証炉へのフィードバック



原子力開発の魅力

# 4. 国際利用

### (1) 核データ

MA(Np、Am、Cm) 示一々比較 JENDL JEFF ENDF/B

### (2) 核計算ツールとV&V

- ・輸送ノード法
- · MOC
- ・感度解析

### (3) 炉心特性

Am蓄積による核特性変化

·Naボイド反応度

### (4)熱流動

自然循環

温度成層化

●国際ベンチマーク問題